

令和8年度 大垣市の主なプロジェクト

安全で安心できるまちづくり事業

通学路安全対策事業

1億9,110万円

児童・生徒の通学時の安全確保を図るため、通学路における歩行空間の整備を実施します。

・歩道整備 ・道路拡幅等(10か所)



超短時間雇用創出事業

943万円

短時間で働きたい求職者(働く意欲があっても、障がいや疾病、ひきこもり等、様々な状況により長時間働くことが難しい方等)と人手不足等の課題を抱える企業をマッチングし、両者にとってメリットのある雇用を創出する取り組みを推進します。



環境SDGs おおがき推進事業／草木等たい肥化推進事業

912万円

「環境SDGsおおがき推進プロジェクト」として、市民や事業者と協働し、未来の大垣を担う人材を育成する「環境SDGs未来創造事業」をはじめ、循環型社会をめざす「草木等たい肥化推進事業」等を展開し、官民一体の環境活動の発展を図ります。



土のうステーション整備事業

717万円

豪雨災害時における市民の自主的な浸水対策を支援するため、いつでも土のうを持ち出すことができる「土のうステーション」を市内に4か所増設します。



水都大垣まちなかテラス事業

530万円

駅周辺の広場や公園でキッチンカーが日常的に出店できるよう支援する等、まちなかの公共の場所にオープンテラスを設け、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」をエリア一体的に推進します。

・水辺空間を活用した「かわまちテラス」の開催 等



希望あふれる活力あるまちづくり事業

大垣駅南前地区市街地再開発事業

14億2,200万円

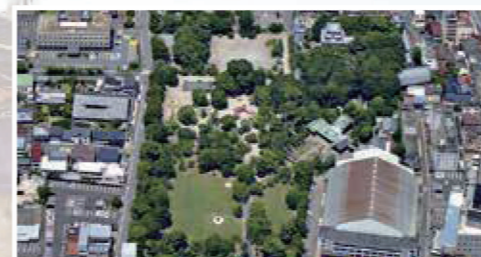
旧百貨店を中心とした大垣駅南前地区において、中心市街地への居住促進と賑わいを創出するため、都市型住宅や商業店舗等を主要用途とした市街地再開発事業を支援します。



大垣公園等再整備事業

4,650万円

大垣市の中心部に位置し、市民の憩いの場となっている大垣公園が、歴史ある大垣城と共に「100年先も愛され続ける大垣のシンボルパーク」となるよう、子どもから高齢者まで多世代が集い、賑わいのあふれる魅力的な公園へ再整備します。



デジタル地域通貨活用推進事業【「ガキペイ」の活用促進】

3,052万円

デジタル地域通貨「ガキペイ」の機能として、現在、実施している「行政イベント等への市民参加によるポイント付与」のほか、「アプリへのチャージ」等を追加し、持続可能な地域通貨としての確立を目指します。



官民連携推進事業【ミナモ会と連携した魅力あるまちづくり】

2,000万円

ミナモ会は企業や大学、民間団体が連携して設立された団体で、市と連携して、「人づくり」と「まちづくり」に取り組んでいます。起業家向けのスタートアップ支援、デジタル人材育成プログラムなどを通じて、未来を担う若者が地域に誇りを持ち、大垣市で「挑戦したい」「働きたい」「暮らしたい」と思える魅力あるまちづくりを実現していきます。



シティプロモーション事業

1,152万円

バンテリンドームナゴヤで行われるプロ野球公式戦で大垣市スポンサーゲームの実施や、首都圏の大学生、若手社会人を対象としたワークショップを開催する等、市の魅力を発信し、移住定住につなげます。



子育て日本一を実感できるまちづくり事業

小・中学校屋内運動場改築事業

4億3,060万円

未来を担う子どもたちの豊かで安全な学習環境の確保と地域の防災拠点整備のため、老朽化した屋内運動場を改築します。

・綾里小学校 ・西部中学校



特別支援教育サポート事業

1億1,500万円

「特別支援教育支援員(通常学級)」と「介助員(特別支援学級)」を統合し、「はぐくみサポーター」として再編・拡充することで、必要なところに必要な支援を柔軟に提供できる体制を構築し、全ての児童生徒が安心して学べる環境を整備します。



定住促進支援事業

9,850万円

人口減少、少子高齢化が進むことが見込まれる中、子育て世帯等を対象に、大垣市子育て世帯等住宅取得支援事業補助金等を交付し、将来を担う子育て世帯等の定住促進を図ります。



公立認定こども園等サポートスタッフ配置事業

3,699万円

給食配膳、遊具や寝具の用意など保育に係る周辺業務を行う「サポートスタッフ」を、認定こども園、保育園、幼稚園に配置し、保育者の負担軽減と、保育の質の向上を図ります。



興文小学校校舎改築基礎調査事業

1,460万円

老朽化している興文小学校及び丸の内こども園の改築・複合化に向け、現況の課題を整理するため、必要な基礎調査等を実施します。

